

スマート社会 選抜用ルーブリック評価表

受験番号

区分	評価項目	評価外・評価不可	標準を大きく下回る	標準以下	標準	標準以上	標準を大きく上回る
		0点	1点	2点	3点	4点	5点
分野別	(1) 自身の研究のオリジナリティを理解し、博士後期課程における研究計画および目標を主体的に設定している	自身の研究のオリジナリティに関する理解に乏しい。	自身の研究のオリジナリティを理解し、目標をイメージしている。	自身の研究のオリジナリティを理解し、計画、目標を有している。	自身の研究のオリジナリティを良く理解し、主体的に計画、目標を設定している。	自身の研究のオリジナリティを良く理解し、主体的に計画、目標を設定しており、明快に説明できる。	自身の研究のオリジナリティを良く理解し、主体的に研究計画、目標を設定し、在学中および修了後の自身の研究の未来像を明快に説明できる。
	(2) 自身の研究が人・モノ・社会・文化のどのような課題を解決するのか理解している	自身の研究の人・モノ・社会・文化における重要性が理解できていない。	自身の研究の人・モノ・社会・文化における重要性を理解する心構えはある。	自身の研究の人・モノ・社会・文化における重要性を理解し、解決すべき課題との関係を意識している。	自身の研究が人・モノ・社会・文化のどのような課題を解決するのか、説明できる。	自身の研究が人・モノ・社会・文化のどのような課題を解決するのか、筋道をたてて、論理的に説明できる。	自身の研究が人・モノ・社会・文化のどのような課題を解決するのかを論理的に説明でき、その具体的な解決方法と効果まで説明できる。
	(3) 人・モノ・社会・文化に関する課題を明確化するため、適切なデータを収集・分析した上で詳細に理解し、自身の研究を深化させることができる	人・モノ・社会・文化に関する課題をデータを収集・分析することへの関心に乏しい。	人・モノ・社会・文化に関する課題をデータを収集・分析することへの関心がある。	人・モノ・社会・文化に関する課題を明確化するため、データを収集・分析しようとする意欲がある。	人・モノ・社会・文化に関する課題を明確化するため、具体的にデータを収集・分析しようとする強い意欲がある。	人・モノ・社会・文化に関する課題を明確化するため、適切にデータを収集・分析した上で、定量的に課題自体の理解を深めることができる。	人・モノ・社会・文化に関する課題を明確化するため、適切にデータを収集・分析した上で、定量的に課題自体の理解し、さらに自らの研究を深めることに活用できる。
共通	(1) 自身の研究内容を専門外の人にわかり易く説明できる	自身の専門領域の知識が不十分である。	自身の専門領域の知識はあるが、専門外の人を意識した説明ができない。	自身の専門領域の知識があり、専門外の人を意識しているが、十分に理解できる説明になっていない。	自身の専門領域の知識が十分にあり、自身の研究概要を専門外の人にも一定の理解が得られるよう説明ができる。	専門領域の知識が十分にあり、自らの取り組みのオリジナリティとその成果および有用性を専門外の人に理解できるように説明できる。	自身の研究内容の背景、課題、取り組み内容、社会への貢献などを総合的に専門外の人にも理解できるように説明できる。
	(2) トランスファラブルスキルの重要性を理解し、身に着けようとする意欲がある	トランスファラブルスキルを知らない。	トランスファラブルスキルを聞いたことはあるが、説明できない。	トランスファラブルスキルを理解し、その重要性は認識している。	トランスファラブルスキルの重要性を認識し、特定のスキルに対する学びへの意欲がうかがえる。	トランスファラブルスキルの重要性を認識し、特定のスキルを学ぶ具体的な計画を考えている。	トランスファラブルスキルの重要性を認識し、具体的な目的意識を持って計画を立て、特定のスキルを学ぶ活動が来ている。
	(3) 修了後のキャリアパスを意識し、社会でどのように活躍・貢献したいかを考えている	キャリアパスや将来展望を考えたことがない。	キャリアパスについて考えたことがあるが、具体的な考えまでには至っていない。	修了後のキャリアパスを意識しており、社会でどのように活躍・貢献したいか、考える準備ができています。	修了後のキャリアパスを意識しており、社会でどのように活躍・貢献したいか、その具体的な姿を説明できる。	修了後のキャリアパスを意識しており、社会でどのように活躍・貢献したいか、具体的な姿と自身の考えを説明できる。	修了後のキャリアパスを意識しており、社会での具体的な姿を目指し、具体的な目標を立てて活動ができています。